

令和2年9月第5回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第7号
受理年月日	令和2年8月27日
件名	介護保険計画の更新年度にあたり、議会として、閉会中を含め、当該常任委員会が中心となって、介護保険料の現状と課題について調査研究に努めていただき、次期計画に反映していただくこと等を求める請願
請願者の住所及び氏名	松阪市
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	田中 正浩 海住 恒幸

請願第 7 号

提出日 令和2年8月27日

松阪市議会議長 西村友志様

介護保険計画の更新年度にあたり、議会として、閉会中を含め、当該常任委員会を中心となって、介護保険料の現状と課題について調査研究に努めていただき、次期計画に反映していただくこと等を求める請願

請願者
住所 松阪市
氏名
連絡先

紹介議員 海住恒幸

田中正浩



請願の趣旨

わたしは68歳の年金生活者です。2か月に1回ずつ振り込まれる年金の中から、住民税や所得税とともに、介護保険料が差し引かれます。県内市の介護保険料を比較してみたところ、「本人が住民税課税」となる所得段階の各層において、松阪市の保険料は、いずれも、県内で最も高い水準であることがわかりました。令和2年度は、第9次松阪市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定の年度にあたることから、これを機に、この状態の是正をお願いしたく、本請願を提出することにしました。

専門家・有識者等で構成される松阪市高齢者保健福祉計画等策定委員会はずでに3回開催されており、この秋から年内にかけ、介護保険料基準額の算定並びに所得段階別保険料の設定等、令和3年度から5年度までの介護保険事業の枠組みとなる素案が作成される作業が本格化すると聞き及んでいます。

そこで、是非、この時期に、介護保険料の決定や市民への説明の方法、市民の考えの取りまとめ方等々、市民が納得できる保険料負担のあり方について議会、特に当該委員会において、調査研究していただき、その成果を来年度からの新保険料の設定に反映されるよう、松阪市及び松阪市高齢者保健福祉計画等策定委員会に示していただきたく、以下の項目を請願致します。

請願項目

- (1) 県内市の中で、松阪市の介護保険料（基準額）が高くなっている要因について分析している内容の公表。
- (2) (1)の要因で高い介護保険料（住民税課税ゾーン）になっていることに対して、改善するために市として実施してきた内容（特にPDCAサイクルに基づいた取り組み）の公表
- (3) 松阪市として、所得段階別の介護保険料の負担のあり方はどうあるべきであると考えているかを市民に示すこと。
- (4) 松阪市の介護保険料に納得できるよう、保険料が決定するまでに、基準額及び所得段階別の保険料の合理的な設定根拠を市民に示すこと。
- (5) 松阪市高齢者保健福祉計画等策定委員会の委員だけで介護保険料を決定するのではなく、策定委員会としての考え方を直接市民に示し、市民の疑問や意見を聴く場を設けること。

以上